

# 第35回 岐阜大学サマースクール（受入）レポート - 2024年度 The 35<sup>th</sup> Gifu University Summer School Program (2024)

2024年6月19日～7月17日の4週間にわたって、本学の協定大学の学生を対象としたサマースクールを開講しました。35回目の実施となる今年度は、ノーザンケンタッキー大学（米国）から5名、広西大学（中国）から2名、そしてソウル科学技術大学校（韓国）から2名、合計9名の学生が参加しました。

## 19. Jun. Opening Ceremony, Campus Tour & Luncheon Meeting

サマースクール開講式、ガイダンス、キャンパスツアー、ランチョンミーティングが実施されました。ランチョンミーティングには、サマースクールの期間中留学生と共に宿泊施設に滞在する本学学生チューターや、留学生の学習支援を行う学生サポーターも参加し、すぐに打ち解けて親睦を深めました。



## 21. Jun. Excursion to Mino City: MINO-WASHI Museum

美濃和紙の里会館へ出掛け、美濃市で何百年も昔から今にいたるまで続く和紙である「美濃紙（ミノガミ）」について学びました。

職人が使う本物の道具を用い、楮(こうぞ)100%の原料を使った紙すき体験にチャレンジした後、展示室を見学し、美濃和紙の歴史や製造工程、道具などが映像と共にわかりやすく解説されました。



## 3. Jul. セタイイベント Tanabata Event

日本の七夕の風習に因んで、皆で短冊に願い事を書き込みました。

笹に飾り付けられた短冊には、家族の健康祈願や「岐阜で子供に英語を教えたい」などの願いが込められていました。

加えて、日本の伝統的な遊びである「かるた」も体験しました。



## 5. Jul. Excursion to Seki City: Edged Tool Workshop

関刃物ミュージアムへ出掛け、女性は打掛式着物を、男性は陣羽織を羽織り、日本の伝統衣装に身を包んで笑顔で記念撮影を行いました。加えて、居合斬りの実演見学や実際に大槌を使った鍛冶体験も行いました。



## 10. Jul. 能楽 (能・狂言)

## Nohgaku (Noh & Kyogen) Workshop

能と狂言のワークショップが開催されました。能は、観世流シテ方味方團先生・田茂井廣道先生、狂言は大蔵流狂言方茂山忠三郎先生・山口耕道先生による講義と実演があり、参加者には「見て、聞いて、体験する」充実したものとなりました。



## 12-15. Jul. 郡上プログラム Gujo Program

郡上八幡国際友好協会のご協力のもと、郡上での文化交流やホームステイを体験しました。  
【内容】口明方小学校訪問・給食体験、郡上踊り講座、郡上高校訪問・剣道体験、茶道講座、書道講座



## 17. Jul. Program Results Presentation

6月20日から7月17日まで日本語授業を受けました。最終日には、期間中に「岐阜の特産農産物」「岐阜の伝統工芸」等のテーマで学生サポーターと岐阜市内を探訪した学生交流活動の発表会が行われました。

ここで岐阜産の野菜と肉を見つけました！



甘長ピーマン ほうれん草 水菜 なめこ 大根 枝豆



## 17. Jul. Speech, Closing Ceremony & Farewell Party

最終日、修了式および歓送会が開かれました。楽しかったことや印象に残ったことについて留学生がスピーチし、本学グローバル推進機構長から修了証書および美濃和紙の証書ホルダーが授与されました。

